

土砂災害対策

土砂災害の予防策

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことです。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すると、これを完全に停止させることは非常に困難です。



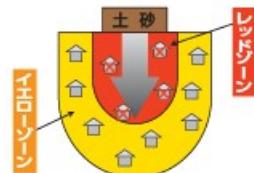
※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

特別警戒区域と警戒区域

土砂災害防止法に基づき、福島県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内的重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定及び見直しを行っていく予定です。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン) 建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害 警戒区域(イエローゾーン) 土砂災害のおそれがある区域



土砂災害の予防策

◎日頃から避難する場所や道路などを確認しておきましょう。

◎がけをお持ちの方は、がけの周辺を見回り、次のようなことを心がけましょう。

斜面の状態の変化に十分注意しましょう。

倒れゆれる大きな木は地をゆさぶらないよう枝を切りましょう。

落ちそうな岩や土のかたまりは除きましょう。

崩れそうな所は木や板の柵、石積をしましょう。

水路はゴミを掃除しておきましょう。

がけの危険な部分はビニールなどで覆い、雨水の浸みこみを防ぎましょう。

雨水をがけに流さないよう水路を造りましょう。

こわれた石垣などは修理や補強をしましょう。

